



ねっどわーく



H24. 10. 24 No.49

■提案します…(^。^)

みなさん、公開研本当にお疲れ様でした。授業者は（あ、もちろんサポーターのみなさんもですが）大変だなあと、身をもって感じています(^。^)

さて、今回は6年生全体で取り組んでいるボランティアに関連する授業を考えています。で、先日の本校全体研究会で話題になった「議題」と「めあて」のところをはじめ、（ネットワーク研修会なのですか）学校として、これからの方向性としてどうなのかなあという点を4点、提案したいと思います。

提案1 指導案の形式→「議題」と「めあて」関連について

自分が春先に出したものが、現在のところベースになっているのですが、今回、変えてみました。南沼原の武田先生より、「子どもの活動」と「教師の活動（支援）」を分けて考えたほうが、指導案書きやすいんじゃないか？」と教えていただきました。それを受けての今回のニュー指導案形式です。

簡単に言えば、子どもの活動バージョンと教師が指導上留意する点を明確にしたバージョンの二本立て。

ここのところ、実は、全体研究会でも話題になった「議題」と「めあて」の部分にリンクするのかなあと。つまり、子どもの身になって授業を考えると、今日何について話合うのか、何をすればよいのか→「めあて」になるのかなあと思うんですね。まあ、確かに「本時のねらい」（教師側）とは同じような文言になっているんだけど、どうなのかなあという一つの提案です。後日、要、相談。

提案2 概念化シートの活用

野口先生より教えていただいた概念化シートを作成する場面を今回提案します。実は、ここは当初軽部先生が公開研で構想していた場面です。野口先生より、そこはどうなんだろう？と言われた場面。

確かに、個人が感想を書いて、分類するとなると、まるまる45分かかってしまいますので、感想はあらかじめ書いておきます。先生方には、どんなふうに分類するんだろうという場面をみていただければ…。

提案3 教師の出

春から、「待つ」「なるべく出ない」「サッカー型で子どもたちが意見をつなぐ」ということを散々言ってきました。まあ、そうなのですが、やはり、そうは言っても「出る場面」もあるだろうと。

で、今回は、たぶん活動の（2）、共通事項を見つける場面が結構難しいだろうなあと思うので、ちょっと出てみたいと思います。出方はどうだったのか？よかったかどうか？など、後で教えていただければ幸いです。

授業時間的には2時10分すぎくらいですね、たぶん(^。^)

提案4 他教科との関連・連動・連携 つまり「連」

座席表と同時に「補助資料」として出します。（あ、指導案についているものの他にです。）

